

M. M.（英語英文学科・2 年次生）

I. 留学レポート

① 留学を目指した理由

留学を目指した理由は、留学経験が今まで 1 度もなく海外の文化を実際に現地で学びたいと思ったこと、TOEIC のスコアを上げたいと思ったことが理由です。

② 留学決定から出発までの準備期間

おおよそ半年です。今まで海外経験がなかったため、まずパスポートを取得しました。カナダはビザの取得が必要ではないため eTA を申請しました。TOEIC の演習問題をしてリスニングスキルやリーディングスキルを安定させて留学がスムーズに開始できるよう試みました。

③ 現地到着後

マウント・アリソン大学の最寄りの空港であるモンクトン空港にスタッフが 4 人で迎えてくださり、そこからバスで 30 分ほど走り大学に到着しました。オリエンテーションは 4 日間行われ、モンクトンでショッピングもあり、そこで SIM カードを購入することができました。

④ 語学留学機関

a. 施設・環境・スタッフ

マウント・アリソン大学周辺の環境は治安のいい田舎です。公園、ドラッグストア、スーパー、ピザ屋など生活にかかせない最低限のお店があるのみです。スタッフは非常にフレンドリーでお出かけをすること、困ったときに相談すること、などができました。

b. 授業内容、課題、試験

授業内容はリスニングと単語のボキャブラリーを増やすことを重視されます。日本ではなかなか聞くことのないイディオムを使わなければならないロールプレイやプレゼンテーションなどがありました。課題は締め切りが早いです。期日が 1 日の課題を用意されることも少なくないです。ロールプレイは 1 日、プレゼンテーションも 3 日で仕上げなければならないなど、休日以外は課題に追われる日々を送っていました。試験は月に 1 回 1 週間行われます。テスト期間は始業が遅く終業が早いいため、かえってゆとりのある日となりました。

⑤ クラブ、課外活動、ボランティア活動

マウント・アリソン大学は課外活動を重要視しています。毎週金曜日には消防署やミドルスクール、大学内のチャペルなどに MASSIE の生徒全員で行くアクティビティがありました。そこではカナダ人の生活や文化が伺えました。

⑥ 現地での住まいについて

春学期のマウント・アリソン大学では、1 人部屋での生活でした。電子レンジ、冷蔵庫、シャワールーム、トイレ、独立洗面台、勉強机など 1 日部屋で過ごせるほど充実した設計でした。食事は朝・昼・晩とバイキング形式でした。苦手な食べ物やおかわりしたいものがある場合に非常に助かりました。近くにあるプリンス・エドワード島でポテトの収穫が盛んなためほぼ毎日ポテトが支給されました。ポテトは日本のお米のような存在でした。食堂から教室まで徒歩 7 分、寮まで徒歩 10 分ほどあるため予定がある日や授業で急がなくてはならない日は走って移動することもありました。

⑦ 長期期間の過ごし方

カナダではカナダデイという祝日があり、また 4 日ほどの休みも 2 回ほどあったため、トロント、ケベック、ニューヨークなどに旅行することができました。飛行機やホテルなどもオフィスのスタッフに頼めば一緒に探してくださるので積極的に活用しました。

II. 留学の感想

① 留学中で楽しかったこと、最も思い出に残っていること

ナイアガラの水に行ったことです。クルーズ船に乗りナイアガラの水しぶきを浴びることができ、お土産に“Dad”と書いてあるナイアガラの水のキーホルダーを買うことができました。

② 留学中でつらかったこと、最も苦労したこと

カナダデイで 4 日間旅行して帰ってきた当日にプレゼンテーションをしなくてはならなかったことです。旅をしながらパワーポイントを作成したりプレゼンテーションの練習をしたりしていました。

③ 文化・習慣の違いなどで驚いたこと

アメリカのことですが、ニューヨークの旅行でチップが足りないと怒られたことです。20%以上のチップを何度か要求されました。

Ⅲ. 留学希望者へのアドバイス

① 日本から持って行って、特に役に立ったもの

プレゼンテーションの課題が多いためパソコンが必須です。また日本の薬や肌に合った乳液や化粧水は大変役に立ちました。

② 語学力の向上等、留学の成果、留学前と後で変わったこと

語学力は TOEIC が 620 点から 650 点にあがり、特にリスニング力が向上しました。留学の成果はプレゼンテーションをすることに構えなくなり緊張しなくなったことです。留学前はできなかった、挙手をして発表をすること、伝えたいことを英語で伝えられる自信がない内容でも、とりあえず伝えようとアクションを起こせるようになったことが、留学前後で大きく変わったことだと思います。

③ これから留学をしようと思っている後輩へのアドバイス

留学前の引っ込み思案な性格やスピーキングに自信がないことはそこまで心配しなくて大丈夫です。むしろそこを直すための留学です。私も自分を変えるという目的で留学をしましたが、留学後の自分の成長を実感しています。

Ⅳ. 将来の目標

① 今後の進路、将来の目標・夢

今後の進路は ANA の客室乗務員です。この語学力を活かし世界に飛び立つお客様と世界を繋ぐ架け橋になりたいです。

Ⅴ. 写真



これは同じマウント・アリソン大学に留学している友達とナイアガラの滝に行った写真です。ナイアガラのクルーズ船を予約し、たくさんの写真を撮りました。ナイアガラの水しぶきを浴びたりナイアガラの滝が目と鼻の先にあるほど近づいたりし、その凄まじい威力を感じました。アメリカの滝側のクルーズ船の乗客は青のレインコートを着用しており、私たちのカナダ船とアメリカ船がすれ違う際にお互いに手を振ったのが思い出です。